

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	のろ たつや 野呂 達哉		職名	特任准教授（農学修士）	
専門分野	哺乳類学、保全生物学				
所属学会	日本哺乳類学会				
担当科目	地域社会と環境、環境保全学、基礎演習 a～b、専門演習 a～d				
<b>I 教育活動</b>					
教育実践上の主な業績		概 要			
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		映像や生体、標本などを活用し、学生が実際に実物の生物に触れることを重視している。演習については、野外でのフィールドワークを実施し、採集方法や採集した生物の標本作製、データの取り方といった調査方法の基礎習得を重視するとともに、GIS ソフトを用いた分布情報の可視化や生息環境分析等の応用的側面も習得できるように計画している。			
2. 作成した教科書、教材、参考書		なし			
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし			
<b>II 研究活動</b>					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著のみ記入）	該当頁数
<b>論文</b>					
名古屋市科学館における名古屋地域の生物多様性普及の試みーなごや生物多様性センター・名古屋市科学館共同企画 「なごやのざんねんじゃない！いきもの」展ー	共著	2022年3月	「名古屋の生物多様性第9巻」 名古屋市環境局なごや生物多様性センター	◎柏木晴香、曾根啓子、西部めぐみ、野呂達哉	87-91 頁
名古屋市熱田区におけるハクビシン ( <i>Paguma larvata</i> ) の胃内容物の一例	共著	2022年3月	「名古屋の生物多様性第9巻」 名古屋市環境局なごや生物多様性センター	◎曾根啓子、野呂達哉	103-105 頁
2011年度から2020年度になごや生物多様性センターに収蔵されたハクビシン ( <i>Paguma larvata</i> ) の標本カタログ	共著	2022年3月	「名古屋の生物多様性第9巻」 名古屋市環境局なごや生物多様性センター	◎曾根啓子、野呂達哉	107-116 頁
環境 DNA を用いた才井戸流周辺の動物種の予察的分析	共著	2023年3月	「名古屋の生物多様性第10巻」 名古屋市環境局なごや生物多様性センター	◎黒川景、野呂達哉、熊澤慶伯	1-12 頁
名古屋市内で9年ぶりに再確認されたアナグマ <i>Meles anakuma</i> 翻訳	共著	2023年3月	「名古屋の生物多様性第10巻」 名古屋市環境局なごや生物多様性センター	◎曾根啓子、野呂達哉	77-80 頁

学会発表			
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等
ため池におけるコウモリ類の音声モニタリング	単独	2022年9月	日本哺乳類学会（三重県）
外部資金			
資金名	助成期間	課題名等	
2021年度あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	2021年5月～ 2022年3月	県民参加によるコウモリ類分布調査プロジェクト	
Ⅲ 社会における主な活動			
役員・委員等			
2012年4月～現在に至る	名古屋市動植物実態調査検討会委員（名古屋市）		
2012年4月～現在に至る	河川水辺の国勢調査アドバイザー（国土交通省）		
2021年4月～現在に至る	なごや生物多様性保全活動協議会動物調査と保全対策部会部会長（名古屋市）		
2023年4月～現在に至る	三重県環境影響評価委員会委員（三重県）		
講演等			
2021年8月	なごや環境大学・共育講座「なごやの生物多様性 - 名古屋に生息する哺乳類を事例として -」講師（名古屋市）		
2021年9月	名古屋市科学館 かがくゼミナール「コウモリを探そう！」講師（名古屋市）		
2021年11月	愛知県自然観察指導員連絡協議会 創立40周年記念講演会「日本におけるモグラ類の多様性と自然環境」講師（愛知県）		
2022年5月	なごや学マイスター講座「都市の中の生物多様性～都市と自然のはざまに生きる～」講師（名古屋市）		